



ホームページの改善方法を発表する
各チームの代表者たち

利根商高

自作HPもつと良く

楽天と連携で中間報告

今年からインターネットサービス「楽天」(三木谷浩史社長)と連携した授業を行っている利根商業高(浜野雅樹校長)は16日、授業の中間報告会をみなかみ町の同校で開いた。情報経済科の3年生39人が、公開した自作ホームページの改善点を探った。

同社が商業高校向けに提供する電子商取引の授業「楽天IT学校」を活用し、5月から同社編成部の茂木恵美子さんを講師に迎えている。

生徒は販売戦略について学び、前橋市の紳士服店が販売するスーツやネクタイなどの商品を紹介するホームページを6チームに分かれて作成した。

報告会では、10月末に公開したホームページの売り上げやアクセス数が発表された。茂木さんは「理想と現実を見ることで課題が見つかる」とし、チームごとに改善点を話し合わせた。生徒たちは「商品の印象が良くなるように画像を修正する」「説明の文字の大きさを見直す」などの意見を挙げた。今月末に修正したホームページを公開する。